

法人（事業所）理念		「ふれあい」を通じて、「かぞくみんな」が充実した時間を過ごせるよう応援します。				
支援方針		①児童の普段の状態を把握したうえで、わずかな変化を読み取れるよう日々のコミュニケーションをとります。 ②ご家族の状況を理解し、ご家族の気持ちに寄り添うことを心がけます。 ③デイでもリラックスして過ごしてもらえるような支援を心がけます。 ④ご自宅で行うことが難しいような体験もデイの中で経験ができるよう心がけます。				
営業時間		9時～18時	送迎実施の有無	あり	入浴支援の有無	あり
		支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	プログラムや活動を通した体験の中で規則正しい生活習慣を獲得し、本人・家族にとって安定した生活を送ることができるよう支援します。 体調を崩さず本人も家族も安心して日常生活を送ることができるよう、必要な医療的ケアを行い健康管理・維持に努めます。 シャワーミストでの入浴を行うことで、保清ケアに努めていきます。 定期的な体位変化やポジショニングを行いながら現状維持に努め、二次的障害を予防できるような介入を行います。				
	運動・感覚	活動を通した体験の中で本人の興味の幅を広げつつ、好きな活動を通して能動的な動作・運動を伸ばしていくよう支援します。				
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚などの五感を十分に活用できるよう興味の幅を広げられるよう遊び、触れ合い活動を通して支援していきます。				
	言語・コミュニケーション	日々の活動の中で声掛けや触れ合いの機会を作ることで、他者との関わりを意識し児童の気持ちを汲み取ります。				
	人間関係・社会性	他児童やスタッフとの関わり合いを通じて様々な感情が育むことができるよう支援し、感情・情緒の発達を促していきます。				
家族支援		医療依存度が高く、通園や通学が困難な児童の親御さんに対して、デイを利用いただくことで親御さん自身のプライベートな時間を確保いただいたり、兄弟のための時間を確保いただいております。また、家族参加型のイベントを行うことで、自宅では経験ができないことを親御さんや兄弟と一緒に経験いただける機会を設けています。				
移行支援		児童のライフステージを意識しながら日々の活動やリハビリを行い、機能の維持・向上に向けた支援を行います。 具体的には、成長後の二次障害を緩和すべくPTによるリハビリを行ったり、小学校入学後の母子分離を見据えて経口摂取が出来るようSTによるリハビリや、嚥下・摂食の認定看護師の指導を行っています。				
地域支援・地域連携		相談支援事業所や訪問看護事業所、訪問ヘルパーとの連携を密にとり、児童がスムーズに在宅に移行ができるよう心がけています。また必要に応じて病院主催の退院カンファレンスに参加をさせていただいたり、児童の主治医や療育センター、児童相談所と連携を取らせていただきながら快適な日常生活を送っていただけるよう取り組んでいます。				
職員の質の向上		たわだりハビリクリニックの多和田Dr.に来所いただき触診して頂きながら児童の特性について説明をして頂いたり、障害の特性やその障害が原因で起こりうる二次障害について定期的な勉強会を開催していただいています。また、医療的ケアについてはすべての児童の手順書を整備し、どの看護師が処置を行っても一定の質が確保できるよう取り組んでいます。				
主な行事等		季節を感じることでできる行事を行っています。具体的にはお散歩（お花見・新緑を楽しむ・紅葉を楽しむ）、季節の花を育てる（土に触ったり種を植えたり毎日を与えたり、成長過程と一緒に楽しみます）、季節の野菜を育てる（育った野菜を自宅に持って帰って食べたり、切ってスタンプで遊んだりします）、節分、夏祭り、鮎つかみ取り、ハロウィン、クリスマス会、餅つき等です。				